

今年度新しく来られた先生方の紹介

親しみ湧く 人となり



発行
膳所高校
新聞班

今年膳所高校に赴任された大場基先生(英語科)、柴田一人先生(理科)、高田麻里先生(数学科)にインタビューして素顔に迫ってみました。



おおばはじめ
大場基先生
英語科

大場基先生は安曇川高校から本校に赴任された。膳所高校の印象について、「生徒の主体性がすごい。こんな高校は(なかなか)ない」と語る。授業でも高いレベルが求められ、やりがいを感じるそうだ。

そんな大場先生が英語の面白さを知ったのは、実は教師になられてからだという。いつも生徒から反応があるとこの仕事の魅力を感じるという、授業を作る感覚は、ライブをつくるそれに近いそうだ。

趣味は音楽、映画、お笑い。特に音楽は、好きすぎて言葉にできないという。また、最近見た映画は「ノーエン兄弟の『No Country』」。絶対見るべし、最高と、熱く語った。最後に生徒へのメッセージとして、「何か一つは地道に続けてほしい」とおっしゃった。ちなみに大場先生は、ストレッチを続けていらっしやるそうだ。

2024年湖風祭閉幕!

7月5日から9日にかけて湖風祭がおこなわれた。1日目、2日目に行われた文化祭では、1・2年生全18クラス中8クラスが模擬店を開き、クラス展示とともに盛り上がりを見せた。3日目の体育祭は今年から新たに滋賀ダイハツアリーナで開催されることとなったが、大きなトラブルなく終えることができた。最後には全員で歌を歌い、生



徒全員の絆を深めることができた。最終日には表彰式と解散式が行われ、今年の湖風祭が終了した。



滋賀ダイハツアリーナでの体育祭の様子
▲中庭のブロック横断幕



しばたかずと
柴田一人先生
理科

柴田一人先生は四月からの異動先が本校だと聞いて「ショックだった」そうだ。なぜなら、膳所高校に対して勉強ばかりしているイメージがあり、そのような生徒を教えることに不安があったからだという。

しかし、実際に来てみると「意外と高校生してるんやな」と驚いたそうだ。そして、勉強とそれ以外の活動の切り替えの良さを感じたという。趣味は銭湯や岩盤浴など「ポーっ」ということで、何も考えない時間を大事にしたいと思っているという。

また、柴田先生は生徒へのメッセージとして、「物理という教科を勉強だけでなく生徒同士が話し合いや発表で関わるきっかけとして捉えてみてほしい。喋ったもん勝ち、黙ったもん負けだ。学問以外の、人との出会いを大事にしてほしい」とおっしゃった。



たかだまり
高田麻里先生
数学科

高田麻里先生は本校に赴任される前、草津高校で十三年間勤められていた。膳所高校に来たときには生徒も先生も多いことに驚いたという。

高田先生が教師になろうと思ったきっかけは、自分の高校時代に二次関数などの高校数学が好きになったことだそうだ。

そんな高田先生の趣味は、「ひとり遊び」だそうだ。読書やエレクトーン、ミシンや切り絵などの没頭できる作業が趣味だという。先生は生徒へのメッセージとして、「学校行事など慣れてないことも多いので、広い心で接してほしい」とおっしゃった。

まだまだ新入班員募集中!

私たちと一緒に
新聞を作ませんか?



編集部より

新年度が始まったと思えば、湖風祭が終わり、あっという間に夏休になってしまいました。みなさんは一学期の学校生活はどうでしたか。新聞班では5月に研修会があり他校の新聞部と交流することができました。高校ごとに違った特色があり、とてもいい経験になりました。一年に一度の夏休み、一日一日を大切に、いい休暇にしましょう。